

日本青年団 新聞

9

2015年
第100巻 第9号

月1日発行

編集・発行 日本青年団協議会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-23-6

秀和虎ノ門三丁目ビル4階

TEL 03-6452-9025

大正5年2月10日第三種郵便物認可（毎月1回1日）

振替口座 00140-6-37229

年間2,200円 1部200円（送料・消費税込）



古田さん（写真前列4人目）はじめ舞鶴町青年会は地域からの期待も大きい

CONTENTS

COVER STORY

私たちが地域の担い手だ 2 ページ

ACTION

◆青年が彩るふるさとの夜空（宮城県） 3 ページ

◆まつりの成功を影で支える（栃木県）

◆青年団を未来につなぐ（福井県）

◆川根の一番熱い日（静岡県）

◆浜を残すためにできること（和歌山県） 4 ページ

◆行政の本気いかに引き出すか（岡山県）

◎連載企画 わたしと教宣 vol.3

INFORMATION

OPINION「注視しようマイナンバー制度」 5 ページ

FOCUS

豊かな地域スポーツ・芸能文化活動をめざして
6～7 ページ

BREAK TIME

◎連載企画 イケ団 8 ページ

◎クロスワード ほか

一青年たちは舞鶴町に集う一

大分市舞鶴町に青年会が復活した。青年会復活の立役者は、生粋の舞鶴っ子でまつり大好きな古田裕樹さん。幼い頃から地域のまつりなどを通じて、地域を盛り上げることに情熱を傾けている。少子・高齢化や過疎化に加え、地域コミュニティの希薄化といった課題を抱える中、古田さんは様々な出会いを重ね、この間、町内会に新しい人が入るための仕組みや、子どもたちが行事に日常的に関われる仕組みを模索してきた。その中でたどり着いた答えが青年会の復活だった。今号では青年会復活までのエピソードを紹介する。